学校番号	３２５

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	社会と情報 Next（数研出版）						
副教材等	社会と情報 Next サポートノート（数研出版） パーフェクトガイド情報　Office 2013 対応（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実践的・体験的な授業を中心に、繰り返し練習して社会に出てから役に立つスキルを身につけていきましょう。また、情報モラルを身につけ、社会の一員として望ましい態度でいられる人を目指しましょう。

2　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とメディアの特徴	○情報の特徴 ○情報の表現形式 ○ディジタル情報の特徴	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a:情報」がもつ意味やはたらきについて関心をもっている。情報の信頼性や情報を検証する方法について関心をもち，積極的に情報を検証しようとしている。さまざまな情報の表現形式について関心をもっている。アナログとディジタルのちがいについて関心をもっている。 b:「情報」がもつ意味やはたらきについて考え，その結果を適切に表現している。情報の価値や信頼性，情報を検証する方法について考え，判断し，その結果を適切に表現している。情報を表現する際の適切な表現形式について考え，判断している。アナログとディジタルのちがいについて考え，適切に判断している。 c:情報を適切に収集，処理，表現するための技能を身に付けている。一次情報を調べたり，クロスチェックを行って情報を検証したりするための技能を身に付けている。失われる情報とつけ加わる情報に注意して，情報の表現形式を適切に変換することができる。長さなどのアナログ情報を適切に読みとり，ディジタル情報として表現することができる。 d:「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。一次情報・二次情報といった情報の種類について理解している。情報を検証する必要性や情報の信頼度を判断する方法について理解している。さまざまな情報の表現形式について理解している。情報の適切な表現形式や表現形式を変換すると失われる情報やつけ加わる情報があることについて理解している。アナログとディジタルのちがいについて理解している。ディジタル情報の利点と欠点を理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲･態度 提出作品の評価 ノートの内容

1学期	コンピュータの活用	○ハードウェア ○ソフトウェア ○インターネットでの情報検索	 ○ ○	○ ○ 	○ ○	○ ○	a:コンピュータの本体や周辺装置に関心をもち，積極的に活用しようとしている。OS やアプリケーションなどのソフトウェアに関心をもち，積極的に活用しようとしている。サーチエンジンの種類や活用のしかたについて関心をもち，積極的に活用しようとしている。 b:コンピュータの中のCPUやメモリ，補助記憶装置の役割について考えている。OS やユーザインタフェースの役割について考えている。サーチエンジンを利用する際に適切なキーワードや効果的な検索条件を考えている。 c:コンピュータの基本的な操作ができる技能を身に付けている。USB メモリなどの補助記憶装置を適切に利用することができる。ファイルやフォルダを適切に扱うことができる。ロボット型とディレクトリ型のサーチエンジンを適切に使いこなすことができる。 d:コンピュータの基本的な構成について理解している。コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。OS の役割について理解している。サーチエンジンのしくみや情報を絞りこむための方法について理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲･態度 提出作品の評価 ノートの内容 期末考査

1学期	人・社会とのかかわり	○情報社会が人に及ぼす影響 ○インターネットの活用 ○電子メールの活用 ○ネット詐欺	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:情報社会が人に及ぼす影響や問題点について関心をもっている。インターネットの特性について関心をもち，インターネットを適切に活用しようとしている。電子メールを利用してコミュニケーションを行うことに関心をもち，適切に活用しようとしている。ネット上のトラブルや迷惑メールへの対策について関心をもち，主体的に対応しようとしている。ネット上の詐欺や架空請求などの問題について関心をもっている。 b:社会の情報化が人に及ぼしている影響について考え，判断している。インターネットに情報を発信する際に注意すべき点について考え，適切に情報を発信している。電子メールを適切に活用するために注意すべき点について考え，適切に判断し，利用している。ネット上のトラブルの原因や対策について考え，その結果を適切に表現している。迷惑メールの対策について考え，その結果を適切に表現している。ネット上の詐欺や架空請求の被害にあわないように，適切な対応について考え，判断している。 c:心身への悪影響がないように，情報機器を適切に利用することができる。インターネットを適切に活用してコミュニケーションを行うことができる。電子メールを送受信するために必要な技能を身に付けている。迷惑メールの対策を行うための技能を身に付けている。ネット上の詐欺や架空請求の被害にあわないように，適切にインターネットを利用することができる。 d:情報化が社会に及ぼす影響と課題について理解している。情報技術が生み出した問題について理解している。インターネットに適切に情報を発信・活用するための知識を身に付けている。電子メールの特徴や適切に利用するための注意点について理解している。ネット上のトラブルを回避し，インターネットを適切に活用するための知識を身に付けている。迷惑メールが社会に及ぼす影響とその対策方法について理解している。ネット上の詐欺や架空請求などの問題が，社会に及ぼしている影響について理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲・態度 提出作品の評価 ノートの内容 期末考査

1学期	法とのかかわり	○知的財産権 ○著作権 ○個人情報	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:著作権などの知的財産権の保護について関心をもち，法律を守ろうとしている。個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち，個人の責任を果たそうとしている。 b:著作権などの知的財産権を保護することの必要性について考え，判断し，その結果を適切に表現している。情報を保護するための法律や個人の責任について考察し，その結果を適切に表現している。 c:著作権などの知的財産権を侵害せずに，情報機器を活用することができる。個人情報やプライバシーを保護し，法律を守って情報技術を活用することができる。 d:著作権などの知的財産権を保護する必要性や，その法律の目的について理解している。個人情報やプライバシーの保護に関連する法律の意義や内容について理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲･態度 提出作品の評価 ノートの内容 期末考査

2学期	情報のディジタル表現	○ディジタル情報の表し方 ○ディジタル表現−音・画像	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ディジタル情報がどのように表されるかについて関心をもち，積極的に活用しようとしている。数値の情報がディジタル情報としてどのように表されるかについて関心をもっている。文字，音，画像，動画の情報がディジタル情報としてどのように表されるかについて関心をもっている。データ圧縮のしくみについて関心をもち，積極的に活用しようとしている。 b:2 進数と 10 進数の変換の方法について考え，その結果を適切に表現している。限られたビット数で数値を表現する方法について考え，その結果を適切に表現している。文字を文字コードで表現する方法について考え，その結果を適切に表現している。音，画像，動画をディジタル化する方法について考え，その結果を適切に表現している。データ圧縮のしくみについて考え，その結果を適切に表現している。 c:2 進数と 10 進数の変換を行うことができる。文字を文字コードを使って表すことができる。教科書の図のアナログ信号を，手作業で標本化，量子化，コード化して，ディジタル情報に変換することができる。画像の解像度や階調を変えることができる。動画を再生することができる。フレームレートから動画に必要な静止画の枚数を計算することができる。データを圧縮・展開したり，静止画や動画のファイル形式を変換したりすることができる。 d:ビット，バイトの概念や，ディジタル情報の量の単位について理解している。2 進数と 10 進数の変換のしかたについて理解している。文字コードのしくみやフォントの特徴について理解している。音，画像のディジタル化のしくみについて理解している。画像を扱うソフトウェアやファイル形式についての知識を身に付けている。動画が動いて見えるしくみを理解している。データ圧縮のしくみや利点について理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲・態度 提出作品の評価 ノートの内容

2学期	情報社会における問題解決	○問題解決 ○表計算ソフトウェアの利用	○	○	○ ○	○	a:問題解決やその方法について関心をもち，主体的に問題の解決を図ろうとしている。具体的な問題解決の手順を学ぼうとしている。 b:問題解決のプロセスについて考え，その結果を適切に表現している。 c:問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d:問題解決を行うためのプロセスを理解している。各プロセスの手順や方法を理解している。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲･態度 提出作品の評価 ノートの内容 期末考査

3学期	情報の表現と伝達	○情報の発信とその注意点 ○表現の工夫 ○プレゼンテーションの流れ ○プレゼンテーションの注意点 ○プレゼンテーションソフトウェアの利用	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:情報を発信することや情報伝達のメディアに関心をもち，情報を適切に発信しようとしている。情報を発信するときの注意点に関心をもち，積極的に活用しようとしている。コンピュータを活用して，多様な形態の情報を統合することやわかりやすく表現することに関心をもち，積極的に工夫している。プレゼンテーションの実施や資料作成に関心をもち，積極的にとり組もうとしている。 b:情報発信の目的に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。情報を発信する際に，著作権や個人情報の保護について考え，適切に情報を扱っている。多様な形態の情報をどのように活用・表現すればよいか考え，その結果を適切に表現している。プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて，効果的なプレゼンテーションを考えている。 c:情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。情報のデータ量を調べ，圧縮などの適切な方法でデータ量を小さくすることができる。多様な形態の情報を統合化し，伝えたい情報をわかりやすく表現することができる。プレゼンテーションソフトウェアを活用するための技能を身に付けている。 d:情報伝達のメディアの性質を理解している。情報を発信するときの注意点について理解している。多様な形態の情報を統合化し，伝えたい情報をわかりやすく表現するために必要な知識を身に付けている。プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。	受講状況の確認 実習へ取り組む関心・意欲･態度 提出作品の評価 ノートの内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。